

会 報
令和6年
2月号
(毎月 10 日発行)
No. 508



垂水区老人クラブ連合会

発行人 松木伸年 〒 655-0893 神戸市垂水区日向 1-5-1 垂水区役所地域協働課内 TEL078-708-5151(内線 312)

1月度理事会報告

1月度理事会が、1月12日(金)区役所大会議室で開催された。

1.事前案件

- W T S 社：①12月10日の施設見学旅行(八日市大鳳会館)には102名参加であったと報告。
- ②1月11日の新春恵方三社詣(A班)は13クラブ、127名の参加。18日(B班)は5クラブ49名の申込
- ③3月21日(木)福祉研修旅行の行先は、大阪方面 A T C エイジレスセンターで2月度理事会で申込を受付ける。

2.会長挨拶

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。新年一月一日早々から能登半島地震、2日には羽田空港で海上保安庁の飛行機と日航機の事故が起り、今年はどうなるのか、2024年は大変な年になるのか、いや色々あったからいい年になるのではないかという人もいますが、初頭からそういう大惨事が起こったことで、今日配布している社会福祉協議会からの、能登半島地震募金の方もよろしくお願ひします。

想えば、阪神淡路大震災からこの17日で29年になります。その中で、やはり人ととの絆が大切になってくるのではないか、一生懸命に生きるという、今日という一日を充実させるということ、一日一日を生きていくということが大切だということを申し上げ、今年一年よろしくお願ひします。

3.協議・報告事項

- 1)新年交歓会
案内状、式次第、出席者名簿、配席表が提示され役割分担等を協議した。
- 2)令和6年度市老連・区老連行事予定表が配布された。暑さに配慮して、例年とは異なる月に計画していることが紹介された
- 3)スポーツ部会から、次年度から区老連輪投げ大会・グラウンドゴルフ大会の参加費を一人当たり200円から300円に値上げすると提案があり了承された。さらに市老連の大会への参加費を、現在は区老連が負担しているが、次年度から参加するクラブが負担することも了承された。
(小林)

当面の行事予定

2月

5	月	区	総合部会	区役所 301 会議室	13:30
5	月	市	健康増進研究会	みなとがわホール	13:30
8	木	区	理事会	区役所 301 会議室	13:30
22	木	市	福祉研修会	神戸文化ホール	14:00

3月

5	火	区	総合部会	区役所 301 会議室	13:30
8	金	区	理事会	区役所大会議室	13:30
21	木	区	福祉研修旅行	大阪方面	8:40

高齢者向け交通安全教室

12月 8 日(金)13時から区役所大会議室において、標記交通安全教室が開催された。

神戸市高齢福祉課田中係長の司会で、最初に松木区老連会長の挨拶の後、教室の開催に連携している団体の方々の挨拶や紹介があり、交通安全講習に入った。

講習では、県警察本部交通企画課 武智警部補から高齢運転者が注意すべきことを具体的に紹介があった。

(1)加齢による衰えが運転に影響を与える点

- ①関節が硬くなり後方の安全確認がし難くなる
- ②眼 動体視力が低下。視野 特に上下方向が大幅に狭くなる。暗い所見難く明るさの変化に順応し難い
- ③認知力と問題を解決する力が低下。車は死角が多い車体の中から見えるのは2割未満しかない 対策として、準備体操、助手席の人にも見てもらう、車間距離や車との間隔を空ける、ラジオ控えめに
- ④夜間は対向車の速度が、遅く遠く見える。特にバイクには気を付ける。死亡事故になりやすい
- ⑤また、安全な速度とは、また、徐行とは何 km/h だと思いますかと問い合わせられ、参加者から色々な声が出たが「7 ~ 8 Km/h です」と答えられていた。

また、参加者からアイズ運動について説明を求められ、横断歩道アイズ運動とは、信号機のない横断歩道には、手前にダイヤマークがあるので意識して、渡りそうな歩行者があれば停止するように説明された。

講話の後、参加者を2班に分け、一方の班は運転シミュレータ体験を行い、もう一方の班は運転能力の衰えを確認するペーパーテストを、それぞれ交替して実施し、14時30分終了した。
(小林)

3月号会報配布当番

☆当番クラブ(2クラブで半数交替、同一人物で円滑引継)

※狩口シニア俱楽部(※責任ヶ谷)舞子松風会
(次回)※舞子松風会 多聞寿会

☆配布日 3月 8 日(金) 10時~11時30分

(次回) 4月 9 日(火) 10時~11時30分

☆作業手順

1.準備 当番クラブは事前(9時30分~10時)にミーティングコーナーで区老連会報と市老連広報紙の同一クラブのものを2段重ねにし、クラブ番号順に長机上に並べる

2.配布・受領他 各クラブは10時~11時30分に受領・押印する。この間、当番クラブは区老連会報を所定の封筒に封入(計13通)糊付けし、宛名ラベルを貼りそれらをレターボックス(会計)の引出しに入れる

3.後作業 11時30分に配布を締切、未引取会報をヶ谷毎に専用袋に入れヶ谷名札を付け、受取記録表・残存会報等と共に、レターボックス上コンテナボックスに収納する
(市・区会報を各々10部所定位置へ保存)

市老連・令和5年度 秋季グラウンド・ゴルフ大会(団体戦)

スポーツ部 会長 山本 寿

11月29日(水)しあわせの村「運動広場」に於いて標記大会が開催されました。

当日は、背景の紅葉も素晴らしい、青く澄みきった天空をも仰ぎ、綺麗に手入れされた芝生の上での、最高のプレー日和でした。

市内9区代表の36チーム(216名)の選手、大会役員42名、総勢258名です。近藤理事長の挨拶の後、女性委員の指導の下、いきいきクラブ体操で身体を解し、白・赤・青・黄・4組に分かれプレー開始。昼食を挟んで、3ゲームの熱戦を繰り広げた。

垂水区老連代表として、5チーム(30名)が参加しました。

成績

- 5位：桃山台クラブ
- 10位：西舞子友の会
- 22位：つつじが丘シニアクラブ
- 23位：矢元台むつみ会
- 26位：狩口シニア倶楽部

来季の健闘を誓い15時解散。お疲れ様でした。



令和5年度施設見学旅行に参加して

西舞子友の会 副会長 近藤 恭正

去る12月10日(日)「世界凧博物館東近江大凧会館と休暇村近江八幡」に垂水区老人クラブ連合会11クラブ、バス3台・100名で松木会長のもと参加しました。バスは快晴、紅葉も見られる中、各地の集合場所から吹田SAに合流し、目的地、湖国をめざしました。大津京、近江八景の湖南より湖東の八日市ICを経由して、博物館に到着。百畳敷大凧や世界の凧の実物の展示を見ることができました。蟬、鶴と亀、鳶、烏賊、牡丹、武者人形、奴凧、甲虫など世界はやはり枚挙にいとまがありません。一方日本の凧のグラフィティ・歴史もそうです。文献では日本書紀や風土記などに登場し、中近世には取締り禁止の歴史まで人気を博しています。正徳2年(1712)の大凧に乗って名古屋城の金の鯱を3枚はぎとった大阪南座の話や大凧合戦の行事など多数!



次に東近江大凧会館では「日本一大凧」など、製作過程や毎年東近江市の成人の日にその年の新成人を祝う大凧揚げを行っています。主に干支の動物などを上部に描き下部に朱色の文字を書き、組合せで意味をもたせる「はんじもん」で願いを込めます。

休暇村近江八幡にて昼食に舌鼓をうった後、ラコリーナ近江八幡にてバウムクーヘンの製菓を見学。休憩後湖岸の景観を楽しみつつ地歴に思いを馳せて皆さんと共に無事に終了し出発地点に戻りました。

クラブ便り

手作りでおもてなし

小東山むつみ会 安藤 友子

〈会員増強〉の声が聞かれます。我がクラブでもご多分にもれず、新規の加入者はなかなか望めず、60数名を何とか維持できているのが現状です。

屋外での行事は、健康面で参加は難しいなど。センターで何かをと思いついたのがお茶会でした。

午前の家事のあと、お仲間とひと時を楽しんで頂こうと今年度、開催の運びとなりました。

第1回 5月20日サンドイッチ&珈琲or紅茶&牛乳寒、参加32名。手作りをと企画はしたものの間に合わず、地域のお店の美味しいサンドイッチに。なんとか手作りの牛乳寒は喜んで頂けました。

第2回 10月20日三色団子(餡・黄粉・みたらし味)&季節のフルーツ、参加27名。手作り出来ました。



第1回 サンドイッチ&
珈琲or紅茶&牛乳寒



第2回 三色団子&
季節のフルーツ

第3回は年明け1月を予定しています。

次年度も皆さんに「参加して楽しかった、美味しかった」といって頂けるよう、そして新しいお仲間もご一緒頂けたら嬉しい限りです。

会としても楽しく活動を続けていけたらと思っています。

市老連・令和5年度ボウリング大会

スポーツ部 会長 山本 寿

令和5年12月8日(金)長田区の「フェニックススプラザ長田」に於いて標記大会が開催されました。

総勢211名(選手190名、大会役員21名)垂水区老連からは25名が参加しました。

近藤理事長の挨拶の後、女性委員の指導の下、いきいきクラブ体操で身体を解し、競技に入りました。

2ゲーム(女性と男性90歳以上は20点の加算)の合計点で競います。

今回の優勝者は322点を獲得した、長田区の女性の方でした。



垂水区老連選手の上位入賞者(敬称略)

16位 中村 正人	(つつじが丘シニアクラブ)	286点
23位 菅 耕一	(桃山台クラブ)	275点
26位 平野富士枝	(西舞子友の会)	274点

参加された選手、役員の方々お疲れさまでした。

俳 句

(狩口シニア俱楽部)

落葉踏む亡夫の背浮び音淋

冬至の日夕餉の膳にかぼちゃあり

二ツ三ツ身によりそへる柚子湯かな

落飾や門跡院の枯銀杏

皮手袋はめてほつとす悴む手

年の暮在宅介護のメールかな

ねんねこや母の背中の子守唄

冷たさに赤くて丸いモミヂの手

(多聞台ときわ会文芸部)

霧浴び駆ける箱根路山の神

(桃山台クラブ文芸部)

小春日や猫伸び伸び瀬戸の島

夕日浴びてほっこりうれし冬の道

(下畠老人クラブ)

いきなりの地震ニユースに屠蘇もさめ

(滝の茶屋クラブ)

冬至来て平磯の池氷張る

(五色山健寿会俳句部)

日溜りやなほ粘りたる笑い独楽

ドレスアップ初春の空月と星

うから集ふ初春の卓賀はへり

恋心叩いて散らす歌かるた

人日や能登の肋は折れしまま

(塩屋柏台パール句会)

黄泉の国夫の旅立小夜時雨

神宮の杜の淑氣は深く満つ

初鶴や聞きのがしたる朝が来る

久々の爺の呑会薬喰

スクラムを解いて肩組む縄暖簾

醉ひすすみ多弁となりし冬座敷

筆始まづ筆先をしならせて

横縞のラガーシャツ着せ応援へ

半世紀続けしお節世代交代

トライして満面笑みのラガーラ

いつの日か貰えなくなるお年玉

小寒の電車に眠る人多し

初鶏や門前町に響かせる

中山沙江子

島谷 祐次

菅野 正彦

水島 章雄

黒森 真理

大森 康宏

小中 命子

大森 康宏

佐藤 浩恵

佐伯サトミ

吉俣 正光

佐藤 浩恵

木村 敏博

春山 和久

蒲原 義博

藤田 田畠美恵子

大上 大上 昭敏

伊藤 恵子

笠浦 健一

中田 邦子

隅田 保代

藤井真美子

富岡 義博

川 柳

能登地震 負けるな無事でと念送る
朝決意 夕に取り止め酒断てず
書き初めの文字がはみ出す一年生
ほしいもの平和と愛と思いやり

辰年の龍があばれたお元日

(桃山台クラブ文芸部)

短日やあれこれそれで日が暮れる
八十路来て今思うのは青春季

八十路来て今思うのは青春季

今年も昭和の歌姫去りゆきて

(多聞台ときわ会文芸部)

去年は税西の叢山希望の一字
世界の平和皆共に祈る

(西舞子友の会)

去年は税西の叢山希望の一字
世界の平和皆共に祈る

短 歌

前田 妙子
三木 浩
本谷丈日子
森田美佐子
和田 恭子

原田 菊枝
小高 肇

木村 敏博

(桃山台クラブ文芸部)

去年は税西の叢山希望の一字
世界の平和皆共に祈る

(西舞子友の会)

去年は税西の叢山希望の一字
世界の平和皆共に祈る

中山沙江子

島谷 祐次

菅野 正彦

水島 章雄

黒森 真理

大森 康宏

小中 命子

大森 康宏

佐藤 浩恵

佐伯サトミ

吉俣 正光

佐藤 浩恵

木村 敏博

春山 和久

藤田 田畠美恵子

大上 大上 昭敏

伊藤 恵子

笠浦 健一

中田 邦子

隅田 保代

藤井真美子

富岡 義博

伊藤 孝子

笠浦 健一

中田 邦子

隅田 保代

藤井真美子

富岡 義博

(桃山台クラブ文芸部)

去年は税西の叢山希望の一字
世界の平和皆共に祈る

(桃山台クラブ文芸部)

北海道の思い出

神陵台三樹会 会長 佐藤 忠篤

昭和38年9月から41年11月まで、北海道地区を営業マンとして担当しておりました。石川さゆりさんの「津軽海峡冬景色」です。上野駅から夜行列車で青森、連絡船の乗船名簿を車中で記載し提出、連絡船は3等席、2等席への乗り換え、船内の簡易風呂の予約を取り、入浴して朝食です。当時の米は内地と異なる味でしたので、もっぱらカレーライスでした。

函館の思い出は、朝食のおかずは「イカそうめん」。函館本線の森駅での「毛ガニ弁当」も楽しみの一つでした。

札幌は第15回「さっぽろ雪まつり」の雪像(1950年第1回)で心を癒し、小樽は天狗山での人生初のス



キー。日曜日、代理店の人に連れられて午前中はスキー学校、リフトに乗りたくて上まで、初心者コースを転びながら町まで滑り帰った事。旭川では、氷点下17度を経験、余りの寒さにマスク、鼻息が凍り息苦しくなりました。旭川から北見ではストーブ列車、魚などの臭いが懐かしいです。夜の釧路では「炉端焼き」大きなシャモジに乗せて、目の前にシシャモなど。帯広では、代理店の方に案内して頂き「阿寒湖」へ。

当時の出張は18日間使用の周遊券です。18日の最後に乗車すれば19日間OKです。多業種の販売、回収でした。釧路から直行で東京までは2回の寝台車です。東京に戻れば、山梨県を加えた関東地区の販促でした。若かった。

**特殊詐欺
多発中！**



←特殊詐欺専用ページ



でんでんむし運動推進中

防犯機能付き電話
の設置を！



余技の俳句

狩口シニア倶楽部 橋田 勉

我が影の薄くなりたる炎天下 草径

先日約十年振りに新幹線に乗った。病も癒えたので俳句の鍛錬会で静岡県に向かったのである。目的地は日本平の久能山東照宮や三保の松原、等々である。私には初めて訪れる地域なので何処を尋ねても新鮮だろうとても期待していたし、静岡出身の現役時代の同僚の名前や顔を克明に思い出してもらいた。

私の住まいのある神戸からは遠隔地なので前泊するため鍛錬会集合の日より一日早く出発し、一人で三保の松原に向かった。静岡駅から在来線に乗り換え清水駅まで行きバスに乗り約三十分で松原に着いた。途中の景観は海が近いので神戸の長田港の雰囲気に似ていたのが印象的であった。バス停の直ぐ横から松原へ、そして美しい白砂からは駿河湾の大平原が広がっている。松平健の暴れん坊将軍の白馬が駆ける場面はここでの撮影だそうで、素晴らしい。富士山とは四十五キロの距離ではあるが、夏場の富士は滅多に見られないとネットで知っていたとおり見ることはできなかった。ここは日本三大松原のひとつでユネスコの世界文化遺産に登録されているそうである。

糸瓜忌や波の転がす貝の殻 草径

波は穏やかで浜は清潔で汚されていない。羽衣伝説の伝わる「羽衣の松」は立派な幹と枝ぶりがやはり美しい姿をしている。句材を探し歩き廻るがなにせ松並木は七キロもあるし、暑さのため、適当に切り上げてしまった。

旅のご相談は…

WTS ワールドツアーシステム



お気軽にご相談ください。

大阪府知事登録旅行業2-2047号
ワールドツアーシステム株式会社
神戸営業所

〒650-0015

神戸市中央区多聞通2-4-4

ブックローンビル2階

電話番号 078-382-0088

ファックス 078-382-0089

<http://www.e-wts.co.jp>